
7. 起業教育に関するお知らせ

大阪商業大学における起業教育は起業家育成を目標とするものではなく、アントレプレナーシップの涵養と起業家的な資質・能力の育成を主たる目標としています。必ずしも経営者を育てる起業家を育成する教育ではなく、そのような資質と能力を持った人物を育てる教育と位置づけています。

起業教育に関する情報交換の場として2003年2月に「起業教育研究会」が発足しました。学科系統の枠を超えて年1回のペースで「起業教育研究会」を開催しています。

また、高校生を対象とした新しいサービスや商品のアイデアを募集する「全国高等学校ビジネスアイデア甲子園」を実施しています。この起業教育の取組みは、平成16年度に文部科学省の「特色ある大学教育推進プログラム（特色GP）」、平成20年度には、「実践教育による社会的問題解決能力の養成—フィールドワークを活用したプロジェクト型演習の導入—」というテーマで「質の高い大学教育推進プログラム（教育GP）」に採択されています。

起業教育研究会のご案内

起業教育研究会には、全国の小学校、中学校、高等学校の様々な学科の様々な教科を専門とする先生方に参加していただいています。具体的には企業家の講演や起業教育に関する実践報告、ワークショップなどのプログラムを実施しています。





起業教育研究会に関する最新の情報は、本学webサイトでご確認いただけます。

第30回起業教育研究会

日時：令和8年8月8日（土）10：00～15：40

対象：全国の高等学校、中学校、小学校の教職員、教育委員会等の関係者

定員：60名

会場：大阪商業大学 ユニバーシティコモンズ・リアクト
〒577-8505 大阪府東大阪市御厨栄町4-1-10

主催：大阪商業大学

後援（予定）：近畿経済産業局、東大阪市、奈良県教育委員会、兵庫県教育委員会、京都府教育委員会、和歌山県教育委員会、滋賀県教育委員会、東大阪市教育委員会、大阪市教育委員会、公益財団法人全国商業高等学校協会

プログラム：

■特別講演

「DX時代の経理人材のあり方」

税理士法人報徳事務所

代表社員・理事長 赤岩 茂 氏

財務会計は簿記上の取引を認識・測定し、会計基準のルールに従い財務諸表を作成する役割を担ってきました。昨今のDX化の進展により、銀行データ等の外部データを会計システム等に取り込み、自動で会計データを作成するようになってきました。

従来、各種検定や公認会計士等の試験でも「早く」「正しく」処理できる能力が求められてきましたが、これがシステムで代替される現在、経理人材に求められる能力は、「つくる」から「つかう」へとシフトしています。

単なる財務分析指標を計算するのではなく、財務諸表から企業実態を読み解くためには、会計学の知識にとどまらず、経営学・心理学・経済学的知見を駆使し、中小企業への経営助言にどのように活用しているかを報告いたします。



■高校における実践報告

①ジビエ利活用で価値を創造するジビエ部の取組

高知市立高知商業高等学校 教諭 佐々木 翼 氏

【概要】

森林率日本一の高知県ではシカなどの野生鳥獣による農林水産業被害が深刻です。

2018年に3年生有志が高知県内で捕獲されたシカを利活用した商品の開発・販売を始めました。それ以来、ジビエ部はシカの食害を受けた県内の森林保護活動に販売利益を寄付しています。小さな活動ですが、地域課題を地域資源に変え、循環型社会の実現を目指すというジビエ部の活動目的のもと、2025年度に彼らが郷土の発展のために挑戦したことを報告します。



②「商業科の魅力発信 ～小学生との連携により未来をつくる～」
長野県須坂創成高等学校 教諭 原山 直也 氏

【概要】

少子高齢化により生徒数の減少が著しい中で、地域の小学生に対して様々な角度からアプローチを行い、連携することで、将来の進路選択において商業科を志してくれる児童が増えるのではないかと、この仮説を立て、実践しています。同じ須坂市内の小学生をターゲットとし、小学生、高校生、双方にとって主体的な学びにつながることを意識して実践しています。



■ワークショップ

第1分科会

新規導入 起業教育ワークショップ

「全国高等学校ビジネスアイデア甲子園」の活用

大阪商業大学

このワークショップは、全国高等学校ビジネスアイデア甲子園（以下、本コンテスト）に参加を検討されている高校教員を対象として開催します。本コンテストについて、応募方法や募集するアイデア、審査基準などコンテストの概要を説明した後、運営側の考

える本コンテストの魅力や活用方法についても紹介します。取り組み資料として用意する「活用ガイド」を用いて、過年度の入賞アイデアを紹介するほか、アイデア発想の方法についても説明します。また、ワークショップではワークの時間も設けます。

第2分科会

起業教育ワークショップ

「遊ぶが変える金融教育:確定申告と投資を“体験”で学ぶ授業デザイン」

合同会社minotake

最高経営責任者 進藤 江介 氏



高校家庭科での金融教育必修化を受け、座学だけでは伝わりにくい実践的な学びをどう楽しく、わかりやすく伝えるかが求められています。

「7歳から学べる投資ゲーム」「確定申告が学べるゲーム」などエンターテインメントの力を教育に活かす手法を学びます。

前半は開発者視点からのゲームの成り立ちや「何を意図して設計したか」を解説し、後半は実際にゲームをプレイするワークショップを実施。

生徒が熱中し、楽しみながら自然と金融リテラシーや社会の仕組みが身につく、体験型学習の授業デザインとその可能性を探求します。

起業教育に関する高大連携

全国高等学校ビジネスアイデア甲子園についての出張講義を行っています。出張講義では、「全国高等学校ビジネスアイデア甲子園活用ガイド」を用いながら、過年度の入賞作品を用いた説明や、アイデアの種を考える発想法の紹介、ワークシートを用いたミニワークショップなどを行います。

関連イベント開催のご案内

◆第25回 全国高等学校ビジネスアイデア甲子園

全国の高校生を対象に新しいサービスや商品に関するアイデアを募集するコンテストです。

第24回は147校の高等学校から6,275件もの応募があり、12月13日（土）に最終審査を開催し、グランプリ1件、準グランプリ2件、審査員特別賞4件、優秀なアイデアを多く応募した15校に学校賞が表彰されました。



募集内容について

募集テーマ：自由な発想で考えられた独自のビジネスアイデア

応募資格：全国の高校生（グループでの応募可）

応募期間：2026年8月24日（月）～2026年9月15日（火）

表彰式：2026年12月12日（土）

大阪商業大学ユニバーシティホール蒼天

表彰：グランプリ 教育奨学金10万円、記念品
準グランプリ 教育奨学金5万円、記念品
審査員特別賞 教育奨学金1万円、記念品
学校賞 図書カード2万円分

主催：大阪商業大学、毎日新聞社

後援（予定）：経済産業省、大阪府、大阪府教育委員会、東大阪市、東大阪市教育委員会、全国商業高等学校協会、東大阪商工会議所

◆第24回大商大ビジネス・アイデアコンテスト

ファイナル・ステージ&表彰式

大商大ビジネス・アイデアコンテストでは、学生たちが新しい商品やサービスのアイデアを応募し、ファースト・ステージ、セミファイナル・ステージを通過したファイナリストによる公開プレゼンテーションを行い、入賞者を決定します。

日程：2026年10月31日（土）

会場：大阪商業大学ユニバーシティホール蒼天



主催：大阪商業大学

後援（予定）：大阪府、日本政策
金融公庫、東大阪商工
会議所、NPO法人東大
阪地域活性化支援機構
課題提供企業：スマイルキッズ株
式会社、東大阪市異業
種交流グループ創遊
夢、株式会社万代

地域連携企業（予定）：ハウス食品グループ本社株式会社



■お問い合わせ

起業教育に関するイベント等のお問い合わせは下記までご連絡ください。

大阪商業大学 総合交流センター（総合交流支援課）

〒577-8505 大阪府東大阪市御厨栄町4-1-10

TEL 06-6785-6286 FAX 06-6785-6133

E-mail: react@oucow.daishodai.ac.jp